

## 令和2年度 第2回香芝市都市経営市民会議 議事要旨

- ◆開催日時 令和2年8月18日（金）午前10時～正午
- ◆開催場所 香芝市役所 本庁舎3階 第1会議室
- ◆出席者 平越副会長、石原田委員、井上委員、植田委員、小川委員、沖本委員、粕井委員、清水委員、縄田委員、萩原委員（計10名）
- ◆欠席者 中川会長（計1名）
- ◆事務局 企画部：堀本部長、遠藤理事  
企画政策課：足立課長、宮崎主幹、吉谷主査、佐々木主任、浅田主事  
地域振興局：津崎局長（議題1について）
- ◆議題 (1) 令和元年度「地方創生推進交付金」事業効果検証について  
(2) 「第5次香芝市総合計画」策定について

---

### 各議題について

#### (1) 令和元年度「地方創生推進交付金」事業効果検証について

令和元年度に地方創生推進交付金を活用して実施した2事業について概要を報告し、外部有識者による効果検証として、総合戦略のKPI達成に有効であったか、各事業を評価した。

#### <評価結果>

##### No.1 万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業【令和元年度評価】

本事業の評価：総合戦略のKPI達成に有効であった

今後の方針：事業内容の見直し（改善）

##### No.2 地域ブランド力を活かしたシティプロモーション事業【計画期間全体評価】

本事業の評価：総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

※上記の評価は、各事業の意見及び質疑後、委員による多数決で決定

#### <意見及び質疑>

##### No.1 万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業

市内外において認知度を高めるよう広報の方法を改善しつつ、事業を継続すべき

- ：有効な事業であるという感想。ウォークイベントについて、たとえばウォーキング時に使用する機会の多いトイレを快適で魅力的なものにするなど、もっといろいろな工夫ができると思う。

- ：ウォーキングコース付近にある店舗等と協力して、休憩スポットを設けたり、イベント当日限定品の販売などを行ったり、インターネット等での広報にもっと力を入れたりするなど、毎年参加したいと思ってもらえるような色々なアプローチを検討していくと良いと思う。
- ：ウォーキングコース付近の店舗等にイベントの事前周知を図ることで、地元の協力も得ることもでき、さらに良いイベントになると思う。
- ：この事業のことを知っている市民が少ないように思うので、もっと市内向けにも広報周知すべき。また、観光スポットのインスタグラム投票結果の検証を行うなど、さらに良い取り組みとなるよう進めていただきたい。

## No.2 地域ブランド力を活かしたシティプロモーション事業

- ：実感として、KASHIBA+（カシバプラス）に対する市民の認知度が低いように思う。もっと広めるためのPRをお願いしたい。
- ：市外へのPRだけでなく、市内で物産展や販売ブースを設けるなど市民へのアピールを行うことで、市民が土産としてKASHIBA+の品物を選択し、結果的に市外へのPRになるといったことも考えられる。また、認定基準について教えていただきたい。  
→（事務局）認定基準については、商工会青年部で構成しているKASHIBA+認定審査会で、審査員による審査を行っている。主な審査項目には、市内で生産または製造されているかと、香芝への思いの2つがある。
- ：KASHIBA+の基本理念が「全ては子どもの笑顔のために」であるので、子どもへのアピールの方法をもっと考えていったらどうか。また、KASHIBA+ホームページの認定品などの情報の仕様が統一感に欠け、魅力が伝わりにくいように思うので、もう少し丁寧につくった方が、サイトを見た人が興味をもってくれると思う。  
今後の取り組み案として、たとえば市民と商工会などが協力して商品開発を行ったり、ふるさと納税の寄附金を活用した商品の開発や認定品の配布などを行ったりしてはどうか。  
→（事務局）市内での販売場所としては、朝市でKASHIBA+の商品を取り扱うブースを設けていただく予定。情報発信の手法や今後の取り組みとしては、委員のご提案を踏まえ検討していきたい。
- ：KPI①について、数値の設定が過剰だったように思う。商品販売額の目標値の立て方は非常に難しいものであるが、この経験を活かして今後の事業評価の精度を上げていただきたい。  
また、香芝ブランドについては、市内と市外の双方で認知されないとブランド化とはいえない。市外へのPRだけでなく、市内での認知度を上げるための戦略が必要である。

- ：シティプロモーションイベントの実施場所が梅田近辺なのはどうか。K P I ③の近鉄利用者数との連動性を考慮すると、たとえば天王寺の方が適切ではなかったか。

→（事務局）実施場所の検討において、多くの人が行き来する点や、商品販売を行うことができる点などを踏まえ選定した。また、香芝のことを知らない人へ発信するという目的から、近鉄沿線でない梅田近辺で実施した。

- ：香芝ブランド認定商品について、令和元年度実績が23点とあるが、私自身は数点くらいしか知らなかった。もう少し市内での認知度を高める手法を検討していくべき。

- ：オンラインショップの売上高をみると、あまりにも費用対効果がなさすぎるという印象。インターネットやSNSなどを活用しながらもっとPRする必要がある。

- ：計画期間全体の評価として、総合戦略に掲げられているK P Iである地域ブランド商品開発数は達成しているが、この事業の目的が不明瞭であるということが評価を難しくしている。ブランド力の向上という点では、一定の成果があったと思われる。

- ：地域ブランド商品の数が確実に伸びているし、すごく良くなっているという印象を持っているが、発信力があれば、もう少し評価が上がると思われる。

→（事務局）（本事業の総括として）交付金事業としては昨年度で終了したが、事業としては継続していきたいと考えている。今回いただいたご指摘や意見を踏まえ、市内でのプロモーション活動を増やすことや、発信力の強化など検討していきたい。

## （2）「第5次香芝市総合計画」策定について

### ◎まちの将来像について

- ：「笑顔をもっと 元気をずっと」という言葉、「カラフルかしば」という言葉、すごく素敵だなと思いました。本案に賛成です。

### ◎人ロビジョンの見直しについて

- ：人ロビジョンを楽天的に見ない方向に見直したというのは、賛成です。

### ◎今後の施策の方針（政策1）について

- ：施策02の主な取り組み①「子育て家庭への支援」の指標として、ファミリーサポートの登録件数や利用件数も設定できるのではないか。

また、主な取り組み②「児童虐待防止の推進」について、主な取り組みの概要に「未然防止」「早期発見」を挙げているので、それらの取り組みに対する指標の設定があってもよい。

- ：施策05の主な取り組み①「地域ぐるみの子ども支援」について、コミュニティスクールの設置を各学校で進められているはずですので、コミュニティスクールの活動が地域の教育力向上につながったかどうかを測れる指標の設定があってもよい。

また、主な取り組み②「青少年の健やかな育成」について、“青少年”と呼ばれる世代の子どもたちは、さまざまな事柄に対して受け手から担い手に変わる時期でもあると思うので、誰かが企画した体験イベント等への「参加者数」「参加率」という指標以外に、自分たちで体験イベント等を企画して活動につなげることができた件数という視点の指標があるとよいのでは。実際、自分たちで企画し、行動に移すことで得られるものが多くあり、それらが青少年から大人になるための大切なステップとなり、「青少年の健やかな育成」につながると思う。

→（事務局）各所管と再度検討する。

#### ◎今後の施策の方針（政策2）について

- ：施策07「医療提供体制の充実」で謳われている危機管理に関連して、今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延により重要視されている「リモート化」を普段のサービスでもできるだけ進めていっていただきたい。今、市民から求められていることであり、どこかにその旨、記載いただきたい。

→（事務局）政策7の施策32「情報とICT技術の利活用」において、全庁的なICTの推進について記載する。

- ：厚生労働省がCOCOAを提供しているように、香芝市にも香芝市版のスマホアプリ等があれば、情報の伝達や広報にも活用できるのでは。

→（事務局）現在、AIチャットボットの活用を検討中である。今後、市民の方からの問い合わせ等に対応していければと考えている。

- ：ICTの活用は、孤立している方の意見を吸い上げることにも役立つと思うので、お願いします。

#### ◎今後の施策の方針（政策3）について

- ：施策13「地域コミュニティの醸成・活性化」の主な取り組み①「自治会活動の支援」の指標に関して、自治会加入率の現状値87.2%は、対策を講じない限り、今後減少すると見込まれる。加えて、本市の加入率は全国的にも高い数値であるため、加入率のさらなる促進は

大変難しいと感じる。目標値として、加入率の増加を目指すならば、自治会へ加入することのメリットやインセンティブを与えるべきと考える。

●：自治会加入者に対して防災セットの配布している例もあるので、参考にしていただきたい。

→（事務局）加入率に関しては、現状維持でも指標として成立するが、今後一層積極的に推進していくため、増加を目指したい。

加入のメリットについては、災害時の共助など、既にある部分を強調するとともに、加入促進に資する事業の検討等を総合計画の記載としては表記する方向で対応したい。

●：施策15「生涯学習とスポーツ活動の充実」の主な取り組み①「生涯学習機会の充実」②「スポーツ活動の充実」について、施設の利用率を指標として設定しているが、特定の団体が多く利用した場合でも、利用率は向上するため、施策の趣旨としては新規団体の参加数や利用者の総数、サークルの登録数などの指標を設定すべきと考える。

●：今後SDGsに取り組んでいくことも踏まえ、開催される講座の多様化を数値した指標や講座の参加者を設定してもよいと思う。

→（事務局）新規団体数や利用者総数に関しては、現在の利用申請の方法では把握できない部分もあるため、指標について、施設所管と協議する。

#### ◎今後の施策の方針（政策4）について

●：施策18「農業の振興」の主な取り組み①「農業体制の整備および市内農作物の魅力創造」の地産地消推進事業について、現在の2品種の酒米以外にも、香芝産の酒米を使った新たな酒造りを検討していることもあり、より一層「香芝産」の表記を強調してほしい。

→（事務局）今後の事業の展開も踏まえ、「香芝産酒米で作ったお酒」などの総称での表記を所管と検討する。

#### ◎今後の施策の方針（政策5）について

●：施策20「災害対策の強化」の主な取り組み②の指標「ため池治水対策率」に関して、現状が40%で12年後の目標値が60%になっているが、保水機能を持つ農地が減少しているため、もう少し早めの整備が必要と思われる。

→（事務局）ため池の治水対策事業は国庫補助金を活用して実施しており、事業費の確保が難しく、工事が計画通りに進まないことなどもあることから、この指標設定値となっているが、可能な限り進められるよう所管と調整する。

●：施策20の主な取り組み④「自主防災力の向上」の指標「自主防災組織活動率」について、本市には規模の小さい自治会もあり、規模と費用の面で自主防災活動を実施できない場合

もある。自治会の統廃合を進めるべきと考える。

→（事務局）所管と協議する。

- ：自主防災組織の活動と一括りに表記されているが、自主防災組織の知識向上のための活動なのか、住民向けの活動なのかを区別して指標を設定すると、より明確に成果を測ることができると思う。また、地域防災計画の作成状況や内容が有効であるかを指標化できればいいと思う。

→（事務局）所管と協議する。

- ：施策21「生活安全対策の強化」に関して、主な取り組み①「防犯意識の向上」が施策の核となっているが、他の施策と比較して内容が弱いと感じる。さまざまな機関も連携しながら取り組んでいることを踏まえて、全体的な内容を再考してほしい。

また、指標の「年間刑法犯認知件数」に関しては、犯罪の種類や凶悪犯罪の発生などの状況変化があった場合に、大括りの件数だけでは把握しづらいように感じる。

→（事務局）指標も含め全体的な内容を再考する。

#### ◎今後の施策の方針（政策6）について

- ：施策25の主な取り組み②「良好な市街地の形成」の中の空き家等対策関係事業について、空き家が発生する状況として、亡くなられて所有者がいなくなった場合のほかに、老人ホームに入所された等により所有者はいるが管理できない状態になったという場合もある。そのため、実施する主な事業の概要の記載内容としては「空き家管理の重要性を周知し、所有者による適正な管理や活用を促進します」よりも「空き家・空き地管理の重要性を周知し、所有者や関係者による適正な管理や活用を促進するための情報を提供します」という表現への変更を検討いただきたい。

→（事務局）所管と調整する。

- ：施策25の主な取り組み①「持続可能な地域公共交通の確立」の指標について、前回会議のときにブラッシュアップするというので、今回改めて提示いただいたかと思います。コミュニティバス・デマンド交通ともに、年間利用者数を現状維持とする目標値設定ですが、コミュニティバスは使用頻度が低く、逆にデマンド交通は「予約が取れない」という意見もあると聞いているので、そういった状況をどう捉えるか、もう少し考える余地があるのではないかと。

- ：今回出た意見を各所管へフィードバックしていただいて、施策への反映について十分に検討いただきたい。今後の香芝を示す重要な計画書ですので、最良のものとなるよう職員一丸となって最後まで取り組んでください。

(3) その他  
連絡事項を伝達

以上